

市長と語る会での主な意見 （公開用）

日 時 令和7年10月11日（土）午前10時～11時

場 所 桜ヶ丘地区センター

出席者 36人

●質疑応答が行われました。

●質疑応答

【質問1】 空き家・空き地対策について

空き家・空き地の管理不全な状況について、改善勧奨に対する改善率と、行政と地域が協働して行える具体的な内容を教えてほしい。

【回答】

令和6年度の市全体の情報提供 101 件中 69 件、68%が改善等の対応がされています。桜ヶ丘地区においては、情報提供 13 件中 11 件、85%が対応されている状況です。

市も空き家の実態調査を行っていますが、地域に精通した自治会からの管理不全な空き家の情報提供が頼りです。今後ともご協力願います。

また、自治会と連携して空き家の利用方法や意向を掘り起こして、売却や賃借等の意向がある所有者とのマッチングを行うという施策もあります。

なお、空き家は個人の所有物であるため、周囲に影響を及ぼさない限り行政の対応には限界があります。そのため、市は捜査権のある可児警察署と協定を締結し連携を強化して取り組んでいます。

【質問2】 8050 問題について

大垣市が行っている不登校児童を仮想空間（メタバース）でアバターを使って居場所を作る試みは参考にならないか。また、秋田県藤里町でひきこもりの人をゼロにしたという話を聞いたが、状況調査をしてもらえないか。

【回答】

可児市でも校外の教育支援センターで数年前からメタバースを活用しており、不登校対策では支援員の努力により今年度4月～7月にかけて、不登校児童生徒数は前年度に比べ減少しました。

藤里町の取り組みは、少ない人口のため、社会福祉協議会の職員が元々住民状況を把握しており、効果的に個別調整ができたことから成果を上げたものです。

【追加質問】

メタバースを大人のひきこもり対策にも活用してほしい。

【回答】

重層的支援体制整備事業のなかで、取り入れることも検討していきたいです。

【質問3】 皐ヶ丘と桂ヶ丘を結ぶ道路の建設について

未造成地による分断で桂ヶ丘の小学生の通学路が長いため、分断されている間に道路（歩道だけでも）を造成してほしい。

【回答】

土地の所有は市ですが、市として道路を造る計画はありません。自動車道路を建設すると、通過交通が増加し団地の環境が破壊される恐れや、貴重な湿地の環境を壊す恐れがあることや、他の地区の道路においてもニーズがたくさんあるためです。

既存の赤道を保護者の皆さんと整備して通学路（歩道）として活用するのであればこれらの問題はありますが、イノシシや虫、不審者などによる安全性のリスクといった課題がある状態です。安全性の確保には地域の皆さんの協力が必要となります。

【質問4】 桜並木の老朽化について

桜ヶ丘ハイツの桜並木の老朽化について、市長の意見をききたい。

【回答】

現在は、本数を約4割減らすという地域の計画に沿って、危険木を伐採しつつ、年間20本ほどの苗木の植え替えを行っています。歩行者の危険を防ぎながら、環境を守っていくために地域の皆さんの声を聞いてやっていきたいです。

【質問5】 三角公園の利用価値を上げる方法について

三角公園の利用価値を上げる方法を検討してほしい。

【回答】

効果的に使うために最も大事なのは、地域の皆さんが「どういうふうに使いたいのか」「何をやりたいのか」という具体的な目的と提案を持つことです。課題も含めそういったことをお聞かせいただければと思います。

【質問6】 福寿苑への移動手段について

老人クラブの活動で利用している福寿苑への送迎バスが、令和8年度の更新時に小型化されると聞き、活動への支障を懸念しているため、従前と同様の大型バスの配備を強く要望する。

【回答】

全国的な運転手不足が原因です。4月から10人乗りワゴン車2台での運行に切り替えます。ご理解をお願いします。

【追加質問】

福寿苑の大ホールは 100 人ぐらい入る。大人数を送迎できる大型バスがなくなることによって施設の利用価値が下がるのではないかと。利用価値を維持するためにも、復活できるよう検討してもらいたい。

【回答】

運転手確保の問題が改善されるとは考えられず、送迎を安定的に継続することを最優先に考えています。

代わりとなるワゴン車 2 往復で 36 名を送迎することが可能です。タイムラグが生じてしまいますが、会の準備などで工夫・調整していただき、ワゴン車の利用にご理解いただきたいと思います。

【質問 7】 高齢市民に対するサービス充実

桜ヶ丘連絡所を支所に格上げし、スタッフと業務内容を充実させて市民サービスの拡大を図ってほしい。

【回答】

職員数に限りがあるため、連絡所を支所に格上げすることは困難です。今後は DX を推進し、将来的には手続きを自宅やコンビニで済ませられるようにする方向性を目指しています。

【質問 8】 青少年育成市民会議会長会の開催について

2 回のうち、せめて 1 回は会議形式の開催に戻してほしい。

【回答】

「半分は対面形式に戻してはどうか」という意見が出たことを、事務局である地域協働課から会長会に伝え、今後協議していきます。